



「たき火」に想う

沼津市校長会長 大川 裕司（沼津市立第三中学校）

今年は、3年ぶりに行動制限のない夏休みでした。テレビでは、日本各地で、感染対策をしながら、花火大会や地域のお祭りが開催されているニュースが流れていました。そこには、多くの子供たちの笑顔や、家族や友達と楽しそうに過ごす姿がありました。

ここ数年、アウトドアブームで、日本各地のキャンプ場が賑わっています。キャンプや自然教室では、「キャンプファイヤー」や「たき火」を囲んで過ごす様子がよく見られます。

私は自然教室のとき、最後まで火の番人をしていることがよくありました。「たき火」を眺めながら、「〇〇くん、食事の支度を頑張っていたね。」「〇〇さん、すごく嬉しそうだったね。」「急に雨が降ってきて、火がなかなかつかなくて、たいへんだったなあ。」などと、一日を振り返り、子供たちの様子や思い浮かんでくる出来事を語り合っているうちに、あっという間に夜がふけていきました。

たき火を見つめる。まきを動かしてみる。パチ、パチン。聞こえるのは、たき火の爆ぜる音。ありのままの自分でいられる。お互いに無理をしない。たき火は、静かに他者とのコミュニケーションを促し、同時に、自分とのコミュニケーションも演出してくれる。時には、見ている人の心を揺さぶり、時には、しずめ、いやす。たき火には、そんな不思議な力があります。

ある日の夕方、私が病院で順番を待っていたときの事です。大変混雑していました。そこへ中・高校生くらいの子が入ってきました。その子は玄関に入ると、乱雑になっていた先客の下足を、ごく自然に一つ一つ丁寧に揃えていました。静かに何事もなかったかのように。

その姿は、私の心に灯をともしてくれました。いつまでも消えることのない灯が、心の中で燃えていました。久しぶりに火を囲んでゆっくり話をしてみたくくなりました。



面接相談&電話相談

◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel951-3440

(1) 新規面接相談件数 7～9月 22 件 年間合計 57 件

<相談内容別件数>

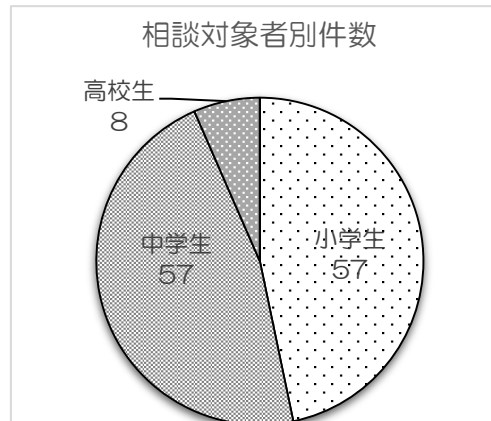
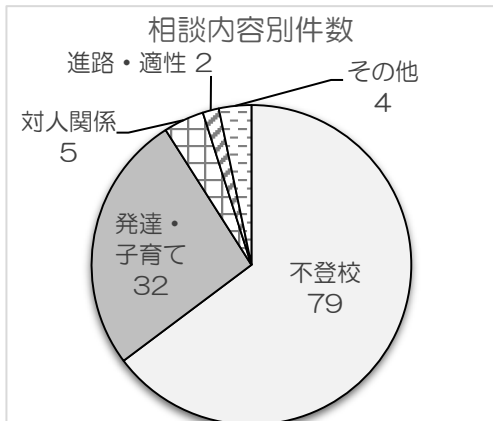
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
7月	0	4	4	1	1	0	10
8月	0	3	1	0	1	0	5
9月	0	6	1	0	0	0	7
合計	0	13	6	1	2	0	22
年間	0	36	17	1	3	0	57

<相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
7月	0	3	7	0	0	0	10
8月	0	2	3	0	0	0	5
9月	0	4	2	1	0	0	7
合計	0	9	12	1	0	0	22
年間	0	33	22	2	0	0	57

(2) 4～9月までの面接相談件数

122 件



(3) 4～9月までの面接相談回数

1190 回

※相談員が面接を実施した回数

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）

<相談内容別件数>



	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
7月	0	0	0	2	0	3	2	10	36	53
8月	0	0	0	0	0	0	0	17	18	35
9月	0	2	0	3	0	2	0	27	53	87
合計	0	2	0	5	0	5	2	54	107	175
年間	0	4	1	14	0	12	4	110	165	310

<相談対象者別件数>

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専攻生	一般成人	不明	合計
7月	0	2	1	1	0	0	13	36	53
8月	0	0	0	0	0	0	17	18	35
9月	0	1	1	0	0	0	30	55	87
合計	0	3	2	1	0	0	60	109	175
年間	0	4	5	2	0	4	122	173	310

情報コーナー

「今を生きる子どもたち」

青少年教育センター 臨床心理士 石川令子

この宇宙のなかに子どもたちがいる。

これは誰でも知っている。

しかし、ひとりひとりの子どものなかに宇宙があることを、

誰もが知っているだろうか。

それは無限の広がりと深さをもって存在している。

大人たちは、子どもの姿の小ささに惑わされて、

ついその広大な宇宙の存在を忘れてしまう。（河合隼雄「子どもの宇宙」より）



大規模災害、コロナ禍、紛争、それに伴って長引く不況など、私たちは今までにない社会的危機に直面しています。今を生きる子どもたちは、自分を取り巻く世界をどのようにとらえているのでしょうか。「コロナ禍がもともとの脆弱性を色濃くあぶり出す」と早くから言われていました。確かに、子どもたちの担っている現状は複雑かつ深刻化していると感じます。

思春期以降の子どもたちに対しては、「悩みを自分のものとして引き受け、しっかり向き合っていけるようになることを大切にしてほしい」と、私は考えてきました。とはいえ、先行きの見えない今は、「ひとりで悩みを抱えすぎないでね」というメッセージを子どもたちに届けることが、とても大切だと思っています。

「たすけて」とSOSを出すのは恥ずかしいことではなく、むしろ勇敢なこと。あきらめていないからこそSOSを出せるのだ、ということなのです。

「レジリエンス(心の回復力)や免疫カアップ」「自律神経を整える」という視点で、リラックスマッサージやストレッチ、食事の工夫など「今日からでもできそう」という具体的なセルフケアの方法を生活に採り入れることは、自己コントロール感の立て直しに有効です。大人も自分に合ったセルフケアのレパートリーを増やしておけるとよいでしょう。

当センターでは、今年度もSST(ソーシャルスキルトレーニング)を計画しています。子どもたちの宇宙に希望や未来を生き抜く力が育っていくことを願い、準備しています。



【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 7/6(水) 鮎壺の滝へ行こう
- ※台風の影響により10月へ延期
- 9/8(木) 切り絵に挑戦(6人)
- 9/21(水) 源兵衛川へ行こう(9人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、相談指導学級通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。今年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しています。

「切り絵に挑戦」では、紙に描かれた絵をカッターナイフやハサミを使って切り出しました。参加者は皆集中して取り組んでおり、全員素敵な作品を完成させることができました。

「源兵衛川へ行こう」では、三島梅花藻の池からスタートし、源兵衛川沿いを歩き、自然を感じました。川に入って水の冷たさを感じる子、網を使って水中の魚などを捕まえようとする子、笹船を作って遊ぶ子など思い思いに楽しく過ごすことができました。



【相談指導学級】

(通称：はばたき教室)

1学期後半にもなると、今までは遠い先のことのように進路を考えていた子供たちも、社会的自立を目指し、中学3年生を中心に、高校等の見学会に参加したり、学校復帰を目指したりと、新しい一歩を踏み出す子が一人、また一人と現れてきます。しかし、通所生同士互いに刺激し合いつつも、そのタイミングは人それぞれです。

「新しい一歩」は、どの子にとっても多かれ少なかれストレスとなります。学校復帰に向けての一歩は、それ相応のエネルギーが必要です。そのため、そういう気持ちになる前に、周りが事を急ぎすぎると大きな失敗に繋がりがねません。

相談指導学級としては、保護者や相談員・学校を始めとする関係機関と連携を図ることで、より多面的な児童生徒理解に努め、子供たちが心理的不安を長期に渡り一人で抱え込まぬよう声掛けをし、時宜にかなった支援を心がけています。

そして、なによりも通所生にとって当センター（相談指導学級はばたき）が、ほっとできる居場所になるよう努めています。

2学期は8月24日（水）に開級しました。1学期同様、子供たちの心の安定を図ることを目標に、これからも適切な声掛けと支援に努めて参ります。

青少年教育センターの活動予定（11・12・1月の主な活動）

はばたき活動		補導関係	
11月10日（木）	沼津御用邸見学	11月11日（金）	補導委員会代表者会
11月24日（木）	スマートフェンシング体験	11月14日（月）	青色防犯パトロール講習会
12月8日（木）	創作（クリスマスリース）	12月2日（金）	県内一斉冬季少年補導 ・社会環境実態調査
1月13日（金）	三島散策 （佐野美術館・三島大社）	12月17日（土）	落書きクリーン作戦（沼商）
1月25日（水）	新春お楽しみ会		
中央街頭補導			
11月	2(水) 8(火) 9(水) 16(水) 18(金) 22(火) 25(金) 29(火) 30(水)		
12月	7(水) 9(金) 13(火) 14(水) 16(金) 20(火) 21(水) 23(金)		
1月	11(水) 13(金) 17(火) 18(水) 20(金) 25(水) 31(火)		



*天候や新型コロナウイルス感染状況等により、中止や延期等の変更をすることがあります。

補導の状況

1 7～9月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

3年ぶりに沼津夏まつり花火大会が開催され、たくさんの笑顔が見られました。花火大会や各地区の夏まつりでは、補導委員をはじめ、多くの皆さんが補導活動に参加されました。ご協力、ありがとうございました。

7～9月は、本年4～6月や昨年度と比べ、小中高生のゲームセンター入場と高校生の自転車無灯火の増加が目立ちます。補導活動に携わる方々による温かな声かけで、トラブル等の未然防止を図りましょう。



学 職 別 区 分		性 別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	年間累計
飲	酒	男							0	0
		女							0	0
喫	煙	男							0	0
		女							0	0
薬 物 乱 用		男							0	0
		女							0	0
夜 間 は い か い		男		1					1	10
		女							0	7
不 良 交 友		男							0	0
		女							0	0
怠 学 ・ 怠 業		男							0	0
		女							0	0
ゲームセンター入場		男	6	22	32				60	88
		女	0	4	43				47	68
パチンコ店入場		男							0	0
		女							0	0
カラオケ店入場		男			1				1	1
		女			1				1	1
自転車の暴走行為		男							0	0
		女							0	1
自転車の二人乗り		男			5				5	7
		女			1				1	1
自転車の無灯火		男			17				17	21
		女							0	2
危 険 な 遊 び		男			3				3	10
		女							0	0
そ の 他		男			1				1	7
		女							0	1
計		男	6	23	59	0	0	0	88	144
		女	0	4	45	0	0	0	49	81
男 女 合 計			6	27	104	0	0	0	137	225
法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0
*ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為										
愛 の 声 か け 運 動		男	52	47	81	4	0	0	184	412
		女	48	38	66	1	0	0	153	328
男 女 合 計			100	85	147	5	0	0	337	740

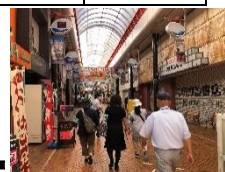
2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員	地区代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等の確認
7月	12	8	13	0	85	118	0	8	11	19	40	140
8月	10	4	15	1	235	265	0	8	37	45	46	119
9月	10	5	13	0	200	228	0	9	35	44	51	78
合計	32	17	41	1	520	611	0	25	83	108	137	337
年間	51	28	66	2	1238	1385	1	50	191	242	225	740

補導の目

令和4年度県内一斉夏季少年補導・立入調査

【中央街頭補導8/23】



青少年教育センター 竹内 一彰

静岡県では少年非行の多発期にあたる7月を「青少年の非行・被害防止強調月間」と定め、県内一斉少年補導と立入調査を実施しています。今年度は7月11日(月)を基準日として、沼津駅周辺・市内11コースと18の地区に分かれて実施されました。少年補導委員(地区・学校)や少年警察協助手、教育委員会指導主事等、487名の皆様が参加してくださり、充実した活動となりました。

(1) 沼津市内の少年補導の結果



【せせらぎ公園 7/11】

市内では、「不良行為」と呼ばれる「不健全娯楽」「飲酒・喫煙」等は、1件で原付の右折禁止違反でした。不良行為以外では、中学生と高校生の交差点等における自転車走行に関するものが7件でした。歩きスマホや無灯火自転車走行は、大人にも見られる現象で、大人の意識改革が必要であるというご意見もありました。また、今夏の電力需要逼迫警報による影響か、店照明・街灯が暗く、道路歩行で危険を感じるという指摘もありました。コロナの影響もあり、街の様子が変わっていくので、補導経路の見直しも検討していきたいと考えています。

(2) 沼津市内の立入調査の結果

ゲームセンターやコンビニ等、青少年に関係する業種約190店舗の調査を行いました。その結果、県条例に違反している店舗はゼロでした。コンビニ2店舗で、青少年に不適切な有害図書が区分陳列されていました。コンビニの書籍コーナーが、人目に触れにくく、有害図書ではないが気になる書籍が多いというご意見もいただきました。コロナの影響か、一般書店2店舗とネットカフェ1店舗、コンビニ1店舗が閉店で、質屋・リサイクルショップ3店舗が新規となりました。

今年度は、沼津夏まつりなどの沼津市のイベントや運動会、修学旅行などの学校行事が、コロナ感染防止を行いながら実施されています。子供たちは、仲間と関わり合いながら、貴重な体験を積み重ね、持っているエネルギーを発散し、充実した生活を過ごし始めています。子供たちの笑顔があふれていくことが、少年非行や問題行動等の防止の特効薬であり、さらに、元気な沼津市につながっていくことでしょう。

コロナ禍の中、一斉補導・立入調査に協力してくださった皆様、誠にありがとうございました。